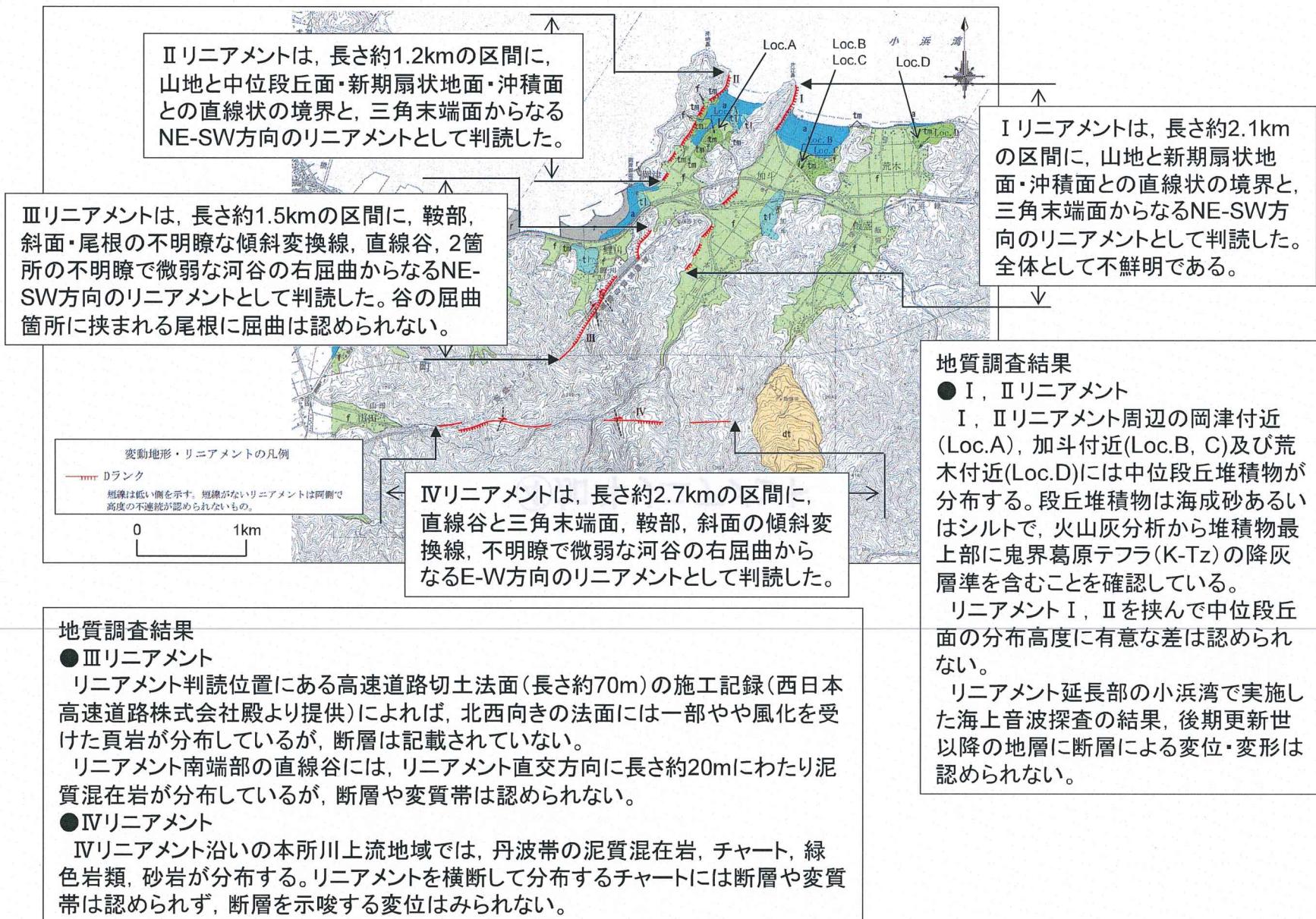
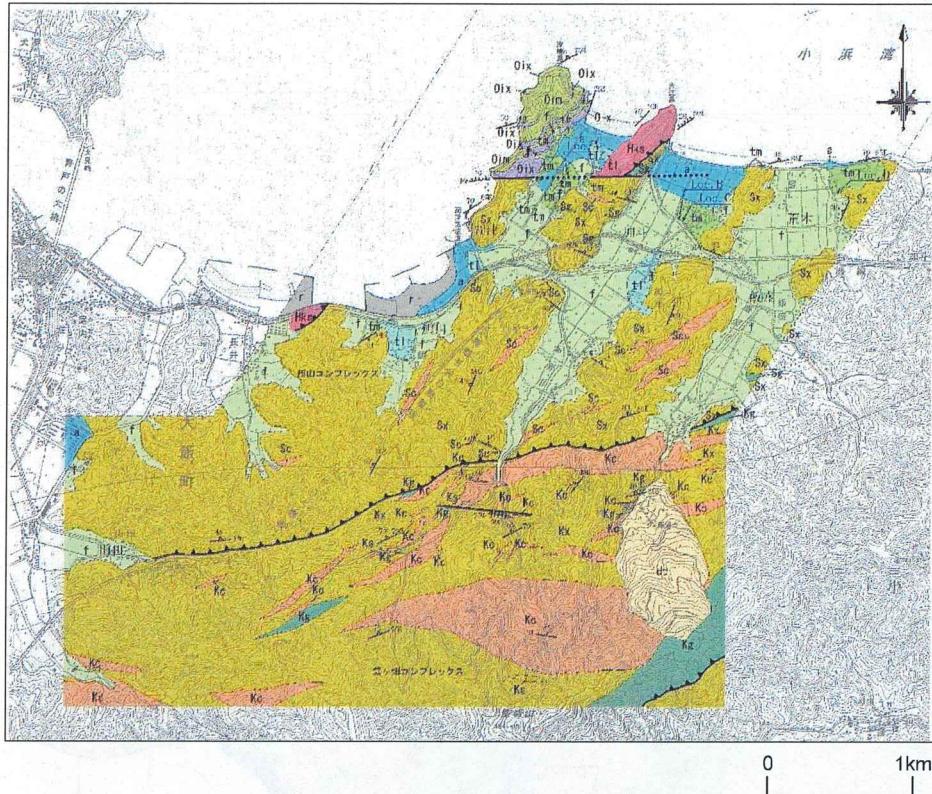


## ④加斗リニアメント

# 加斗リニアメントの調査結果

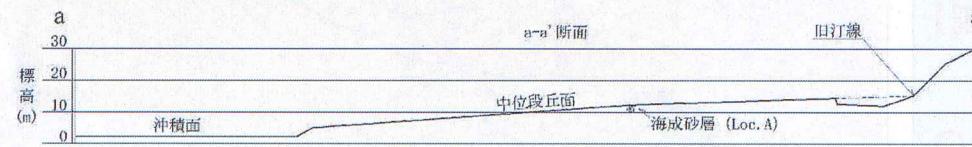
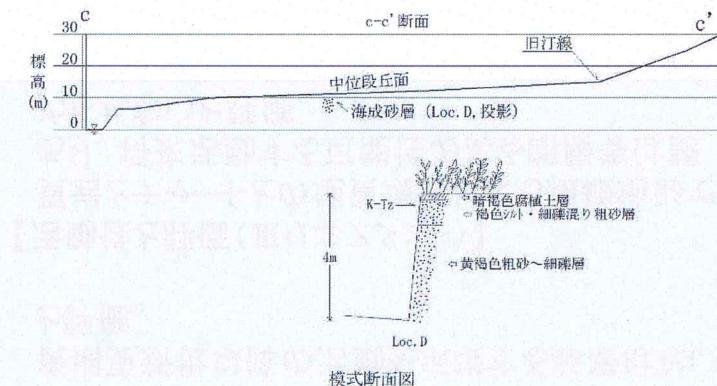
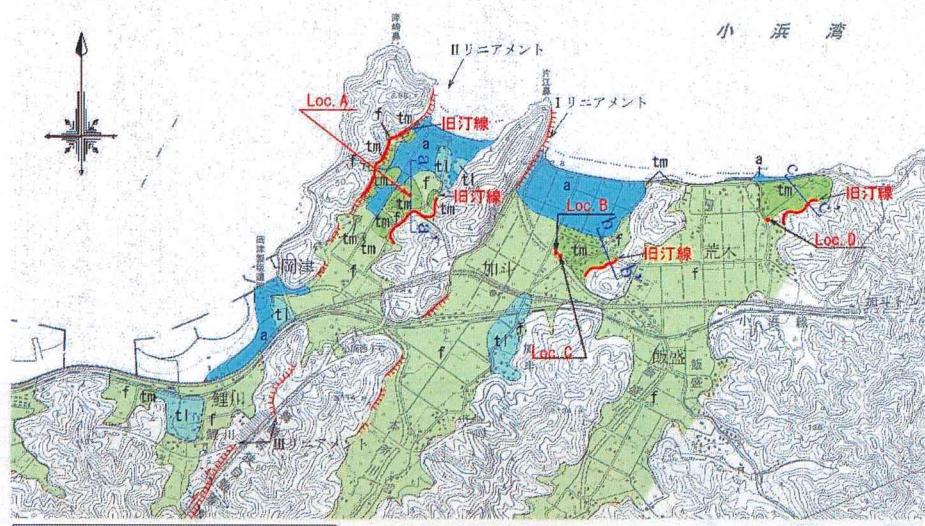


## 加斗リニアメントの評価

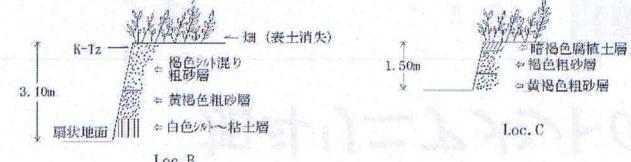
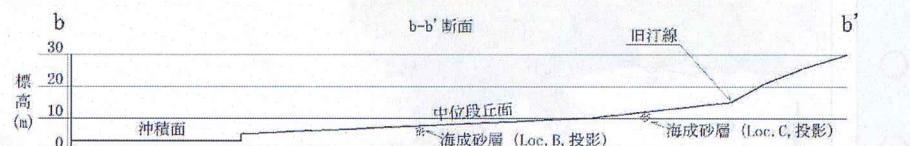


# 加斗リニアメントの調査結果(海成中位段丘分布)

第122回審査会合  
p99再掲

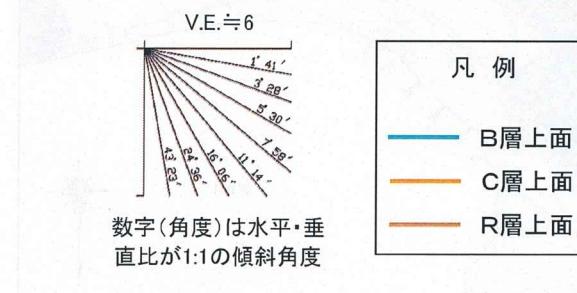


凡例	
tm	中位段丘面
tl	低位段丘面
f	新期扇状地面
a	沖積面
— tm —	Dランクのリニアメント
— tl —	短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。
— f —	短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。
— a —	旧汀線
— a' —	断面線
Loc. A	海成段丘堆積物確認位置
K-Tz	K-Tz降灰層準 (火山灰分析結果)

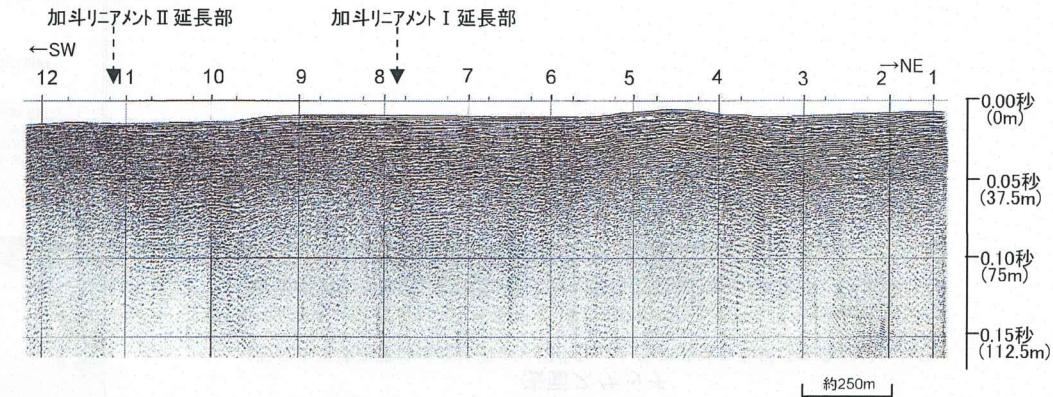


リニアメント I, II 付近に分布する海成中位段丘面の分布高度に有意な差は認められない。

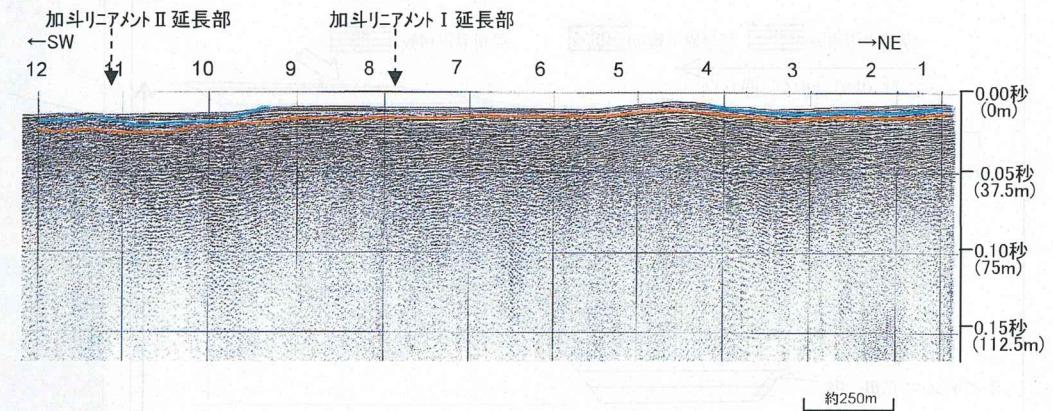
## 加斗リニアメントの調査結果(延長海域)



### 【AB-202G】



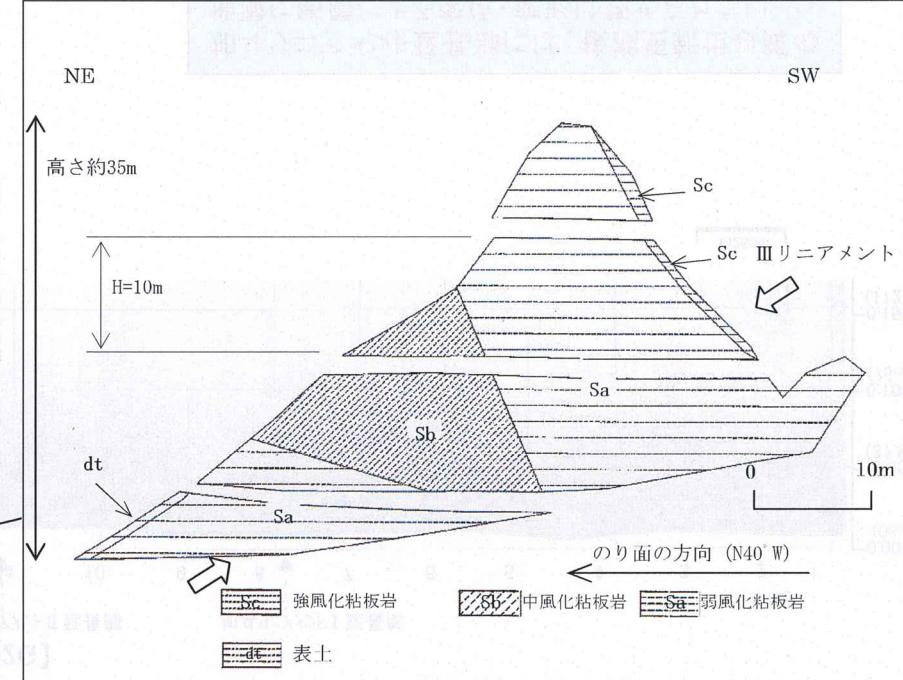
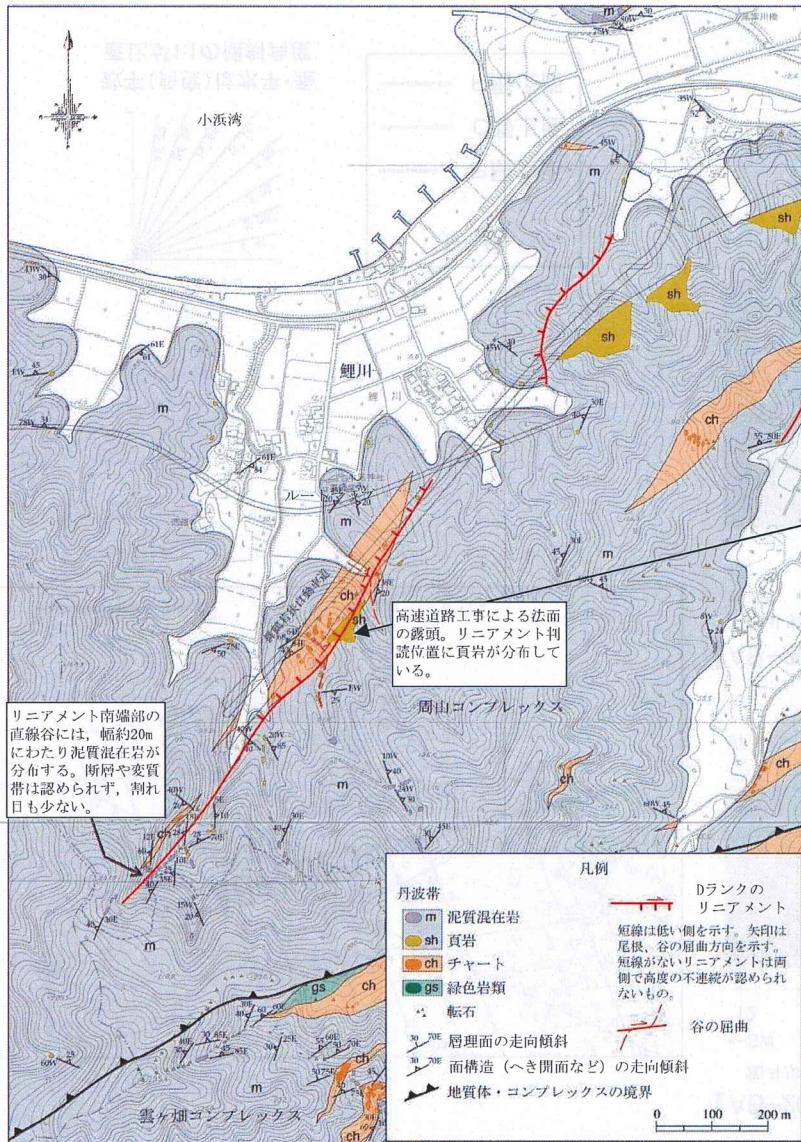
### 【AB-202G】



加斗リニアメント延長部には、後期更新世以降の地層に断層による変位・変形は認められない。

# 加斗リニアメントの調査結果(Ⅲリニアメント)

第122回審査会合  
p101一部修正

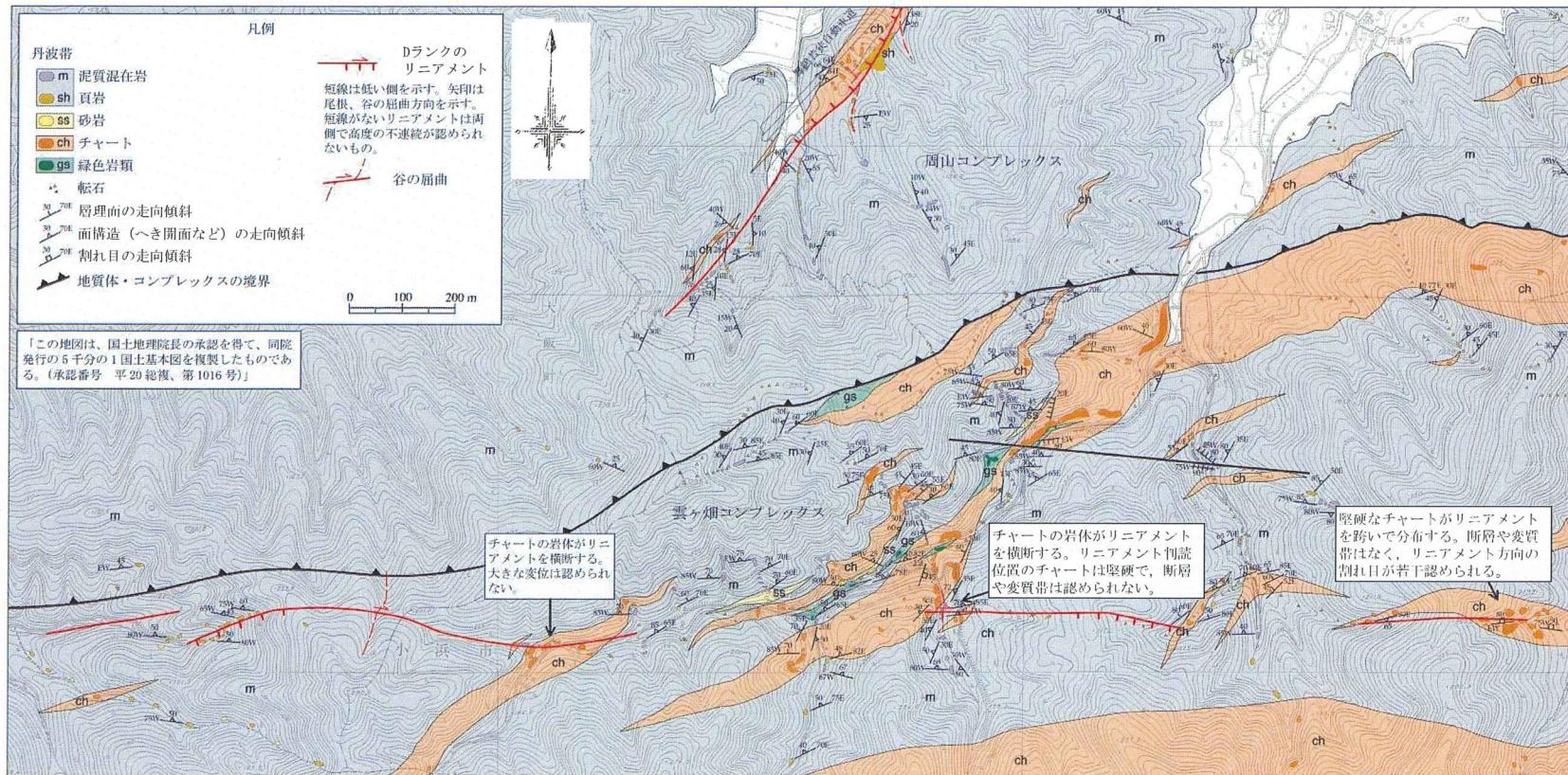


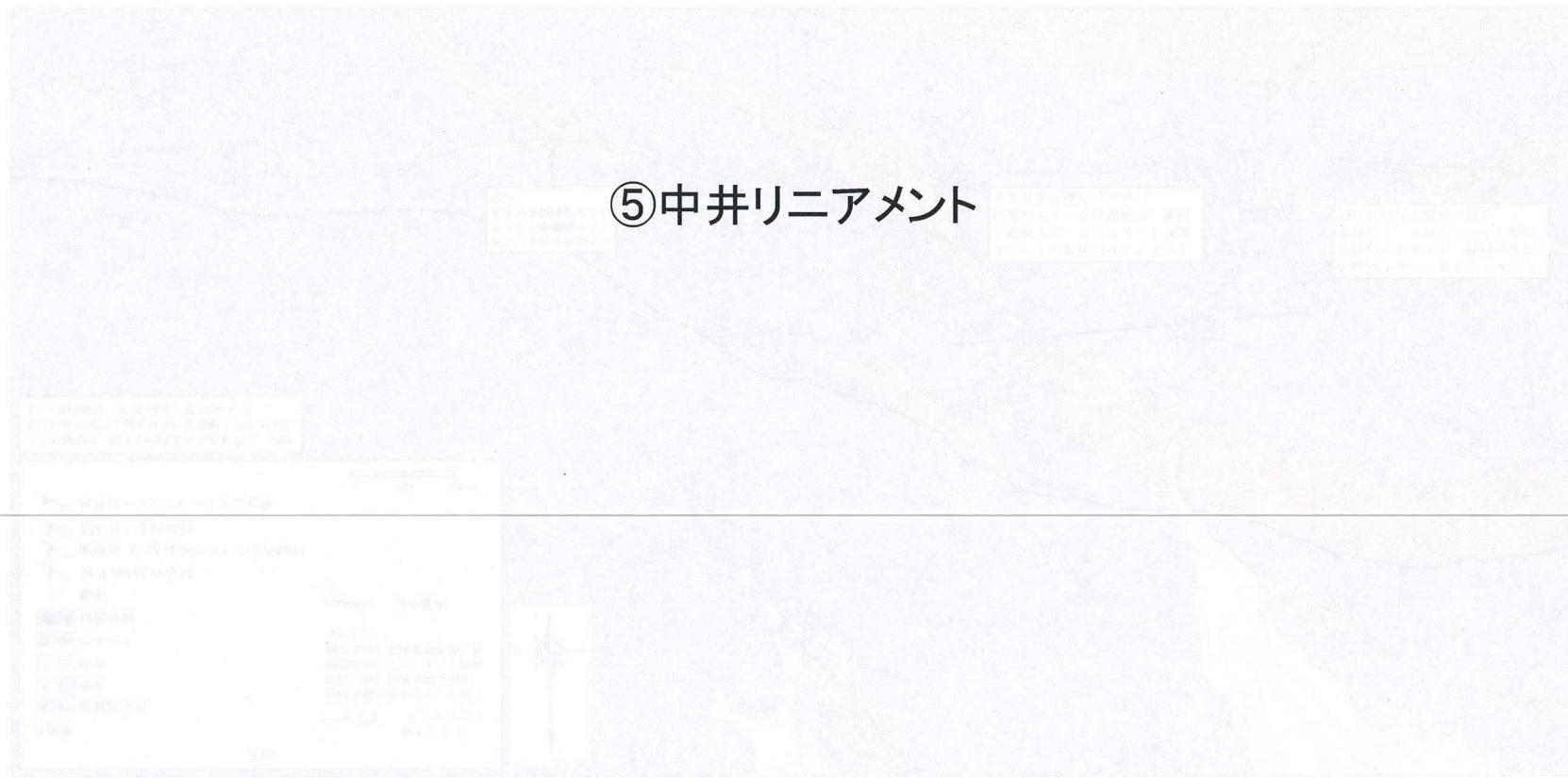
法面スケッチ  
(西日本高速道路株式会社殿より提供頂いた舞鶴若狭自動車道工事記録に加筆)

法面の地質は表土及び強風化～弱風化粘板岩（本報告では頁岩と称す）からなり、断層は記載されていない。

# 加斗リニアメントの調査結果(IVリニアメント)

第122回審査会合  
p102再掲



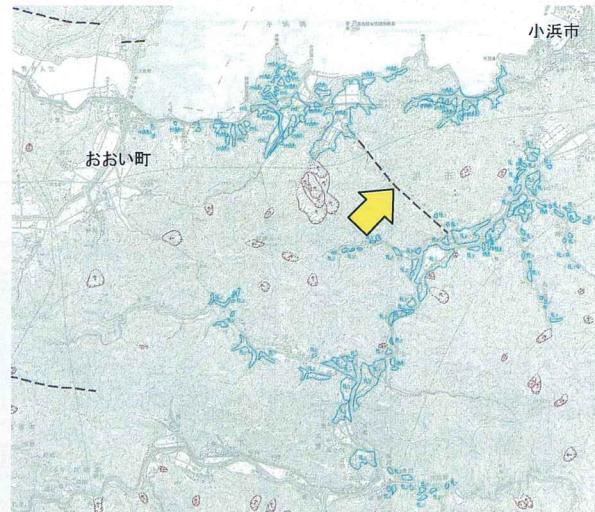


## ⑤中井リニアメント

第1回ニュウカトの開拓幹道(IA)ニュウカト

# 中井リニアメントに関する文献

岡田・東郷編  
「近畿の活断層」（2000）



0 4km

断層名	長さ	確実度	変位の向き
—	3.0km (図説)	主なりニ アメント	—

## 活断層の確実度

確実度 I : 活断層であることが確実なもの

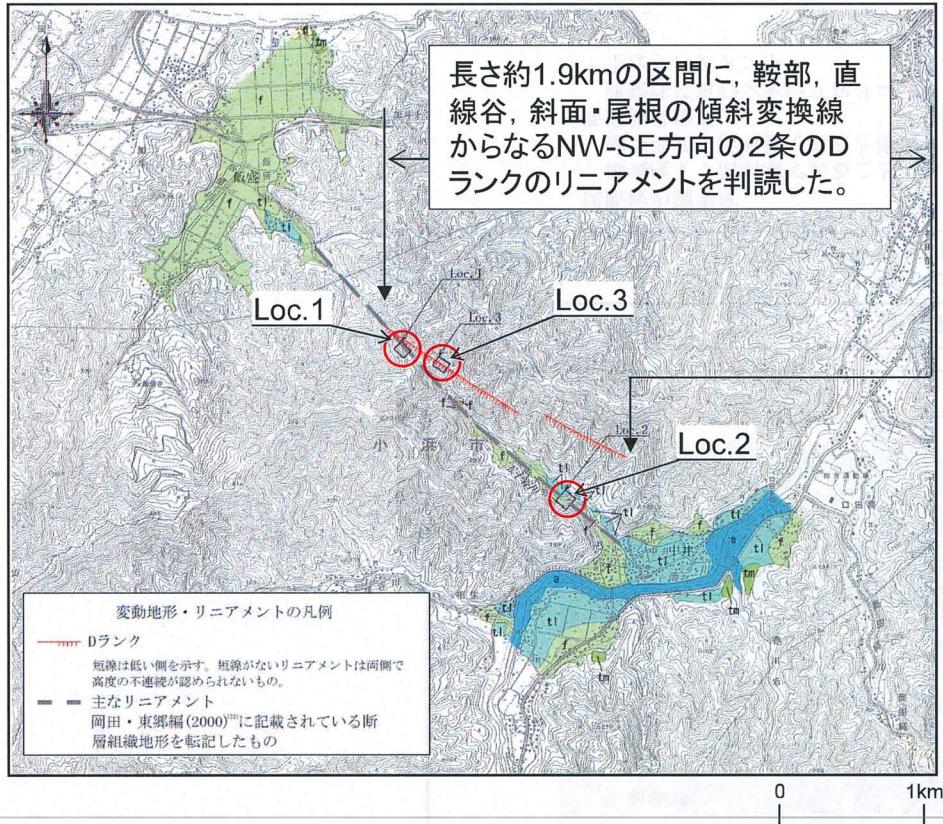
確実度 II : 活断層であると推定されるもの

## 断層組織地形

連続性に富むシャープなリニアメント (L)

主なリニアメント

# 中井リニアメントの調査結果



## 地質調査結果

### ●Loc.1

文献リニアメントの直交方向に長さ約17mにわたりチャートの連続露頭を確認したが、リニアメント記載位置及びその周辺には断層は認められない。

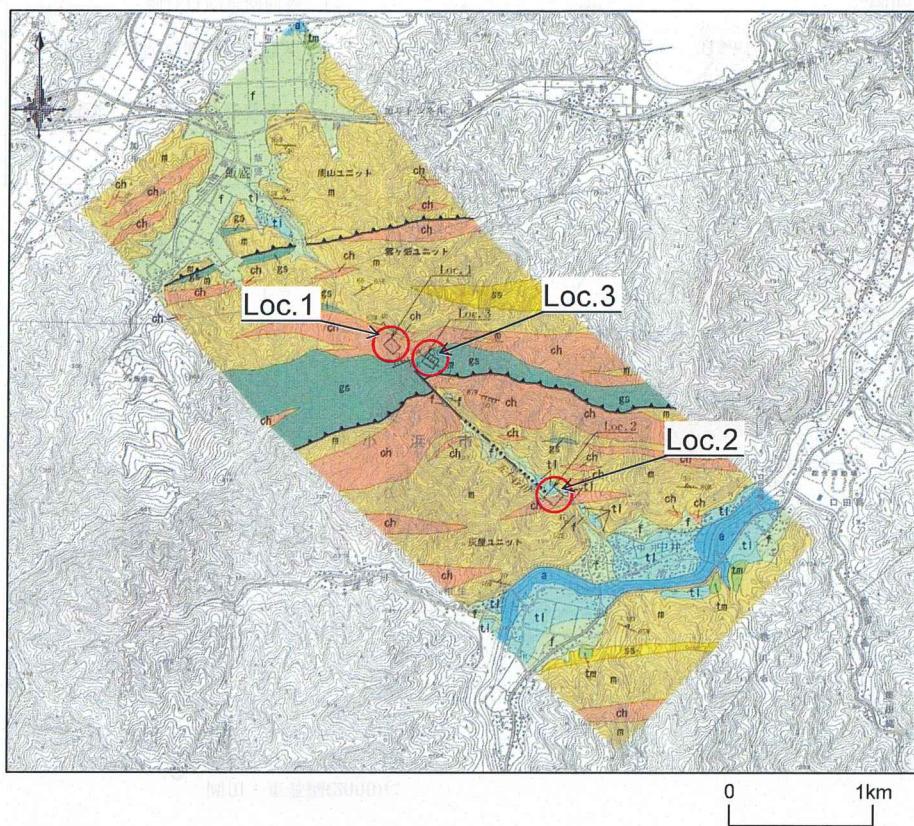
### ●Loc.2

文献リニアメントの直交方向に長さ約55mにわたりチャートのほぼ連続した露頭を確認したが、リニアメント記載位置及びその周辺には断層は認められない。

### ●Loc.3

判読したリニアメント付近で変質した緑色岩類中に固結した幅約15~30cmの破碎帯を有する断層を確認した。  
断層面の走向傾斜はリニアメント方向と調和的であるが、断層面は湾曲し、粘土も認められない。

## 中井リニアメントの評価



### 【調査結果】

- 判読したリニアメントの北西部(Loc.3)でリニアメント方向と調和的な走向の断層を確認したが、破碎帯は固結している。
- 文献に記載されたリニアメント北西部(Loc.1)と南東部(Loc.2)でリニアメント記載位置にチャートの健岩露頭を確認した。



### 【活動性】

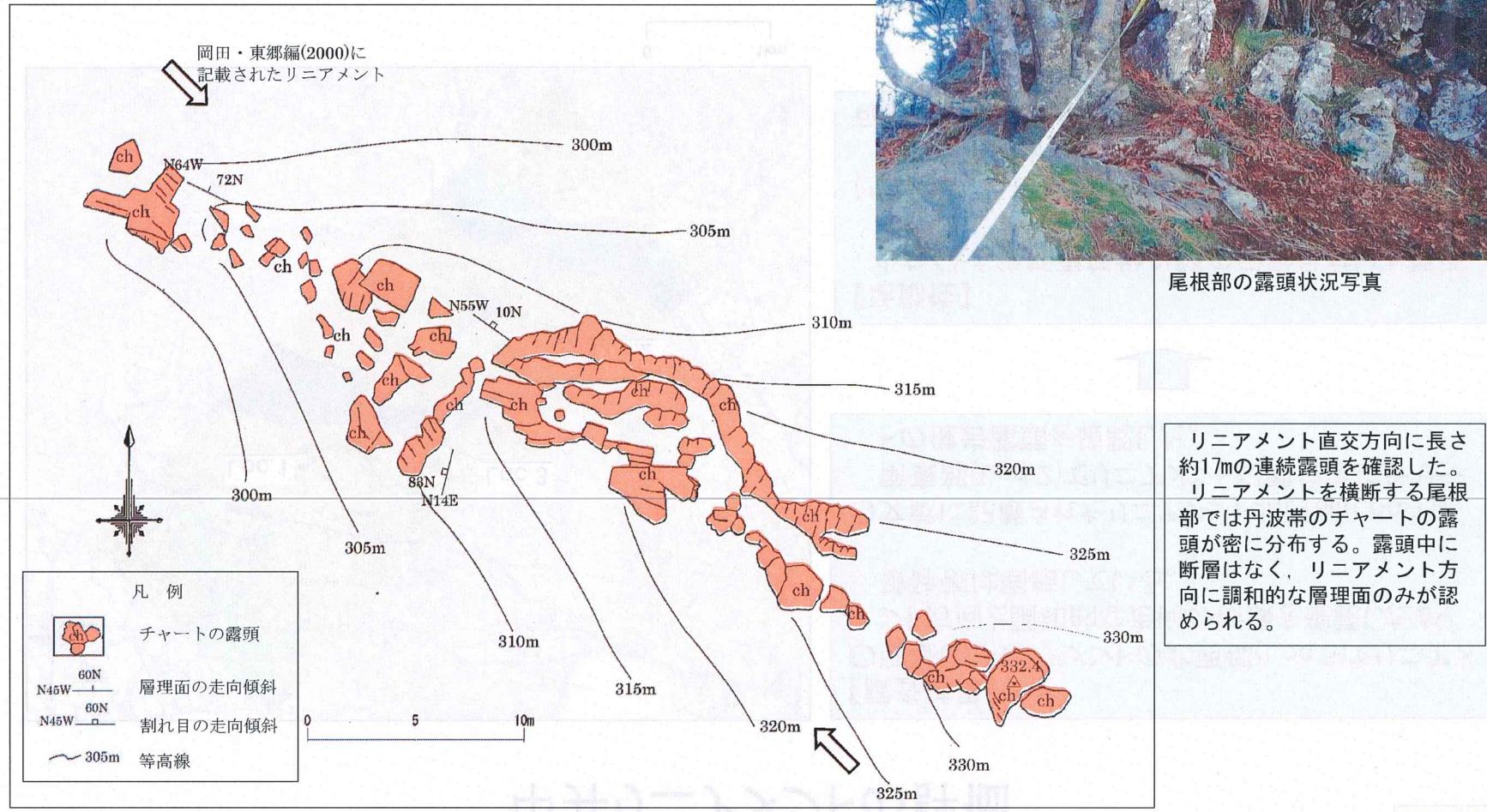
少なくとも後期更新世以降の活動はないと評価。

### 【リニアメントの評価】

古い断層による組織地形であり、将来活動する可能性のある断層等は認められないと評価。

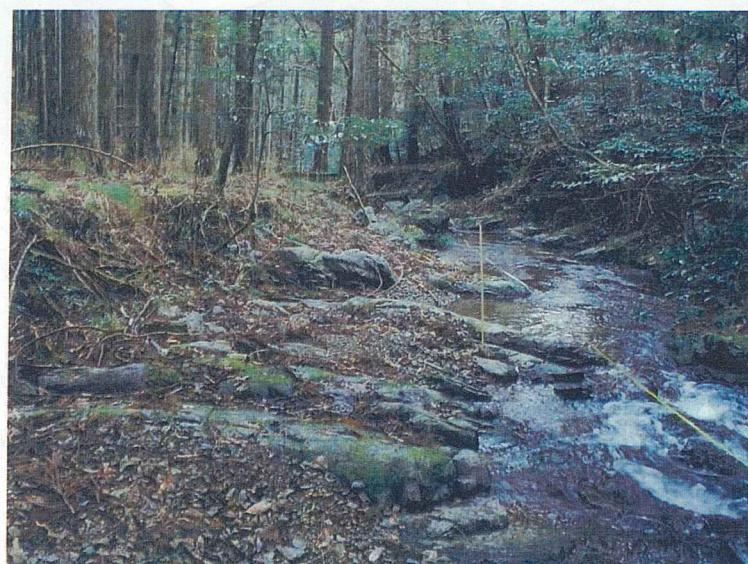
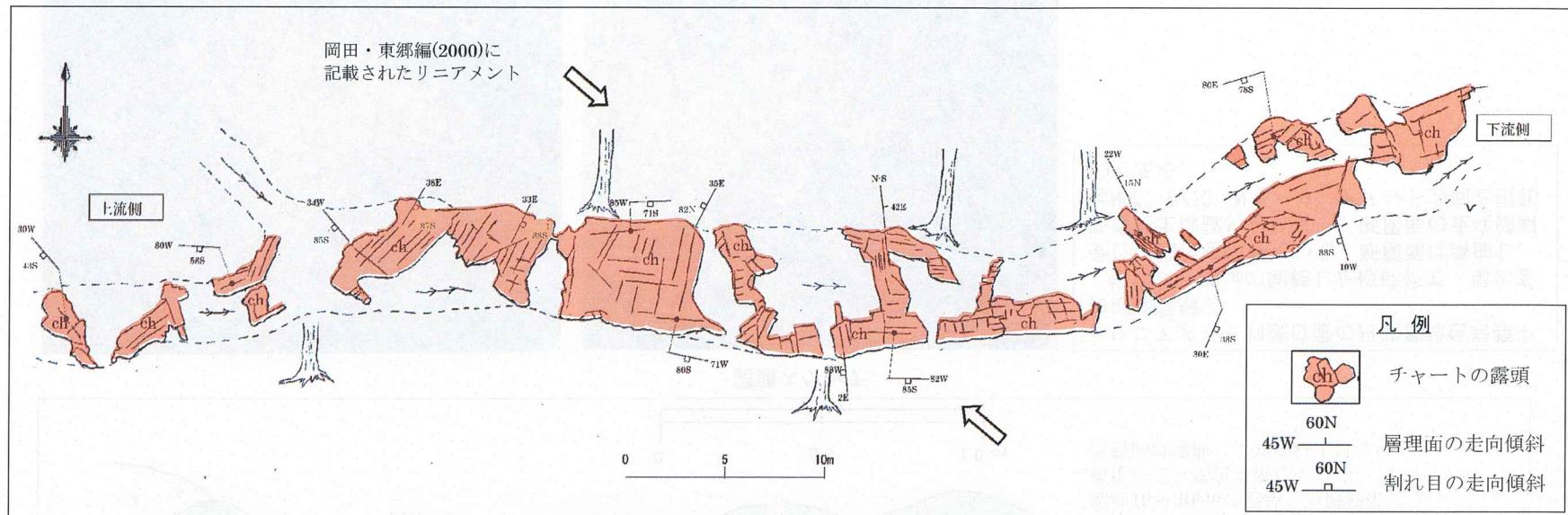
# 中井リニアメントの調査結果(Loc.1)

第122回審査会合  
p107再掲



# 中井リニアメントの調査結果(Loc.2)

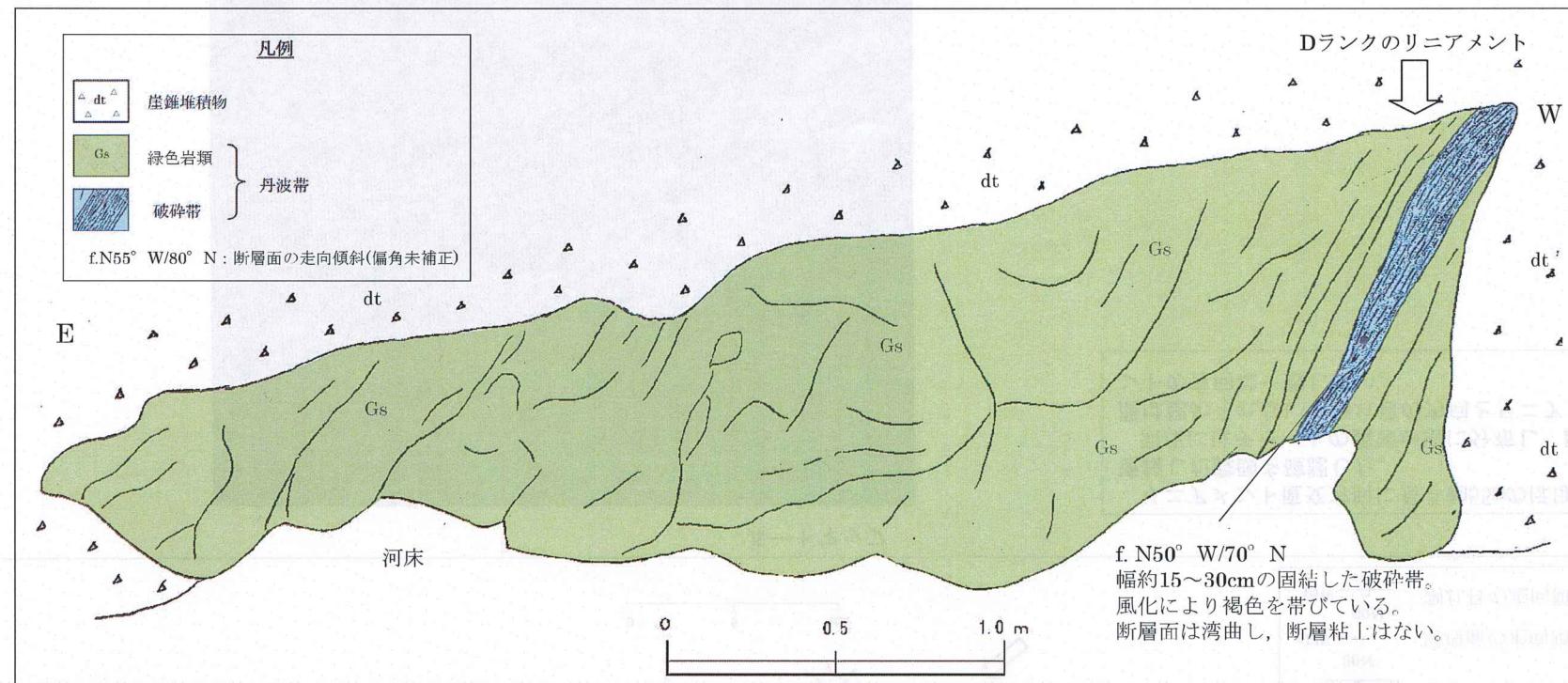
第122回審査会合  
p108再掲



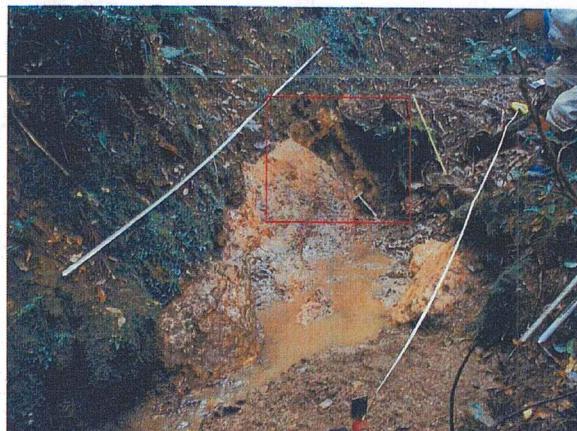
リニアメント直交方向に長さ約55mのほぼ連続した露頭を確認した。  
河床にはチャートの露頭が密に分布し、断層は認められない。割れ目の方向とリニアメントの方向は一致しない。

# 中井リニアメントの調査結果(Loc.3)

第122回審査会合  
p109再掲



露頭スケッチ



露頭写真



破碎帯拡大写真

リニアメント判読位置の丹波帶綠色岩類中の断層露頭。

幅約15~30cmの固結した破碎帶で、風化を受けて褐色を帯びている。断層面は湾曲し、断層粘土は認められない。断層面の走向傾斜はN50° W/70° Nで、リニアメント方向と調和的である。